

とちぎ国際交流

International Exchange Bulletin

第 2 号

1989年（平成元年）3月

編集発行

（財）栃木県国際交流協会

Tochigi International Association

〒320 宇都宮市昭和1-2-16

栃木県自治会館1階

Tel (0286) 21-0777

Fax (0286) 21-0951



「花のトンネル人の波、 清流と桜の宴「金崎の桜」

思川（小倉川）の金崎堤に、大正10年、天皇陛下のご成婚を記念して植樹されたのがこの桜である。やがて見事な桜並木となり、花の名所として人気を集めてきた。

毎年、約800本の吉野桜がいつせいに開花する4月上旬には、大勢の観光客が集まり、華やかなお花見で賑わう。手拍子や歌声がトンネルをくぐり川面に流れる。清流と桜が綴る楽しい春の風物詩である。

（交通ガイド 東武日光線金崎駅から徒歩で3分。）

「とちぎの景勝百選」より

“AN AVENUE OF FLOWERING CHERRY TREES”

There are beautiful cherry blossoms and clear streams in KANASAKI. (in the village of NISHIKATA, north of Tochigi city)

Cherry trees were planted on the KANASAKI banks of the OMOIGAWA river in commemoration of the Imperial marriage in 1921.

Now KANASAKI is noted for the Beautiful Cherry blossoms and is popular among the local people. The 800 cherry

blossoms come out in early April every year and this site attracts a large number of tourists. The people have a good time under the cherry blossoms, eating, drinking, singing and being festive.

This is one of the things that gives poetic charm to spring.

TRANSPORTATION TO KANASAKI :

3Min. walk from TOBU-KANASAKI station.

(TOBU NIKKO Line)

国際交流シンポジウム開催される

「とちぎとアジア諸国の国際交流——

こころのふれあう交流を求めて」をテーマに、去る2月17日、栃木県青年会館において国際交流シンポジウムが開催されました。

当日は、さまざまな立場で国際交流に携わっている県民の方々、約130人が参加されました。午前中は東京工業大学教授で開発経済学の専門家渡辺利夫氏から「アジアの時代と日本の役割」と題して基調講演をいただきましたが、この中で氏は、最近の新興工業経済地域（NIES）や東南アジア諸国連合（ASEAN）などの経済成長がアメリカに大幅に依存している中で、ブッシュ政権が貿易不均衡是正を目指すことから、NIESや

ASEAN、それに中国や日本といった西太平洋の国々が相互依存していくことでアジア、ひいては世界経済の活性化が図られていく、と述べられました。

午後からは、パネルディスカッションに移り、石橋太郎外務省国内広報課長をはじめ県内外で活躍するアジアに詳しいパネリスト10人が交流事例の発表を行いました。



ようこそ とちぎへ

河内町在住

宣教師 クルベリー・エバートさん

クルベリー・アンキさんご夫妻
(Kullberg Evert, Kullberg Ann-Christine)

〈プロフィール〉

ご主人のエバートさんは、1952年スウェーデンの南西約300kmにあるジョンショピング市(Jönköping)の近郊の町に生まれる。宣教師となり奥様のアンキさんとともにアメリカに渡り半年間英語を勉強し、1983年来日。軽井沢の宣教師日本語学校で2年間日本語を勉強した後、1985年来県し岡本キリスト教会をひらく。奥様のアンキさん、長男トミー君(6才)、長女カーリーナちゃん(4才)、次女アンナちゃん(2才)との5人暮らし。

〈来日の動機は、どういうものですか。〉

わたしは、5才の頃、日本で活動した経験のある宣教師からいろいろと日本の話を聞いて、すごく興味を持ちました。その頃はアフリカに行く宣教師が多かったから、わたしは日本という国はアフリカの中にあるんだと思っていました。そして13才の頃、「宣教師になって日本へ行くように」という神の声を聞きました。(アンキ)

〈それで、実際に日本に来て、どういう感じを持ちましたか。〉

教会の数がとても少ないのに驚きましたね。僕の生まれたスウェーデンの人口1万人くらいの小さな町にも教会は8つあるのに、3万人の河内町にはひとつもなかったんです。(エバート)

わたしは、音楽が好きだったので日本の楽器に興味がありますね。三味線や琴を少し習っています。(アンキ)

僕も軽井沢にいた時とこちらに来た時に、少し書道を習いました。最初、書道の先生の作品を見たときには、字が読めないせいもあったのかもしれませんが、何かごちゃごちゃしていて、

ちっともすばらしいとは思いませんでした。でもね、逆にそこで興味をもって自分でもやってみようと思ったんです。(エバート)

「万軍の主」と書いた条幅作品を拝見しましたが、堂々たる本当に立派な書でした。



〈今、宣教師活動のほかに、どういうことをしているんですか。〉

教会では、聖書研究会やコーラス、それから子供のための土曜学校ということで、聖書のお話や賛美歌を歌ったり、ゲームや工作をしたり楽しいプログラムを組んでいます。それから小学生から大人までを対象に、英会話教室を開いています。(エバート)

毎月1回、クッキング教室とコンサートの夕べも開いていますよ。(アンキ)

〈日本に来て、何か困ったことはありますか。〉

そうですね。僕はまだ漢字がよくわからないので、新聞を読むのに苦労しています。全国のニュースは英字新聞を読んでいますからいいんですけど、地元のニュースがわからない。救急車や消防車のサイレンを聞いて、それが何だったのか後でわからないので、不安ですね。(エバート)

新聞にふりがながあればいいのにね。聖書みたいに。(笑)

(アンキ)

〈言葉の問題で、お子様はいかがですか。〉

長男のトミーは、幼稚園に入ったころは「僕も黒い髪がほしいよ」なんて言ってましたけれど、幼稚園の先生が他の園児たちに、「外人じゃなくて、トミー君と呼ぼうね。」と言ってくれたそうです。今は全く問題はないので、この4月に入学する小学校のことも心配していません。(エバート)

トミーは長女のカーリーナと話すときは日本語で、私たちと話すときはスウェーデン語なんです。スウェーデン語のほうが、へたですね。(アンキ)

〈最後に、お二人と夢をおきかせ下さい。〉

この教会をもっともっと大きくしたいですね。建物も、これは当時の喫茶店を買取って改築したものですから手狭なんです。(エバート)

人間はアジアの人もヨーロッパの人も、アフリカの人もアメリカの人も、みんな神の宝なんです。世界の人々が、みんな仲よく暮らせるようになればいいですね。(アンキ)

国際交流には、各国のおもてなし、物産、料理、フェアなどに実績と経験の豊富なホテルをおえらび下さい。

市の中央

政府登録国際観光ホテル 日本ホテル協会会員

宇都宮ロイヤルホテル

〒320 宇都宮市江野町11-16 (オリオン通り南)

TEL0286-33-0331 FAX0286-34-2402

TLX3522-530 UROYALJ

こちら国際交流最前線



1989年ひな祭りグッドバイパーティー

いっくら国際文化交流会は、1983年に発足し7年目を迎えました。主婦を中心としたグループですが、男性も含めて幅広い年齢層の会員が活動しています。外国語が話せなくても、誰でも参加できます。

栃木県に住む外国人や栃木県を訪れる外国人と、さまざまなふれあいの場を持っています。その場に応じて栃木の紹介や日本文化の紹介などもしています。ホームステイ受け入れも積極的に行っており、最近2年間で約40カ国、150名を受け入れました。

日本語を勉強をしたいという外国人には、ボランティアで日本語を教えています。日本での生活に慣れ、日本をより正しく理解してもらうことを目的としています。

相互理解を深めるためには、私達が日本のこと、郷土のこと

をよく知っていなければならないという観点から、郷土理解のための学習もしています。また講演会、シンポジウム、セミナーなどを開いて、国際交流のあり方を考えています。

これらは会員だけが学習するのではなく、一般市民にも参加協力を呼びかけるなど、地域社会への働きかけも積極的に進めています。学習活動、交流活動を行うことによって、互いに啓発しあい向上してゆくことも大きな目的であり、生涯学習としてのボランティア活動でもあるのです。こうした活動を通して多くの人々と友だちになり、それぞれの国々のすべての人々が平和で心豊かに暮せるよう、地球的な視野で社会を考える人が、一人でも多くなることを願っています。

(いっくら国際文化交流会広報担当 文責 酒井)

●主な活動内容

1. 学習活動
企画運営委員会・実践英会話教室・日本語教授法講座・中国語教室
2. いっくら国際井戸端会議
講演会・国際交流セミナー・日本文化の紹介・外国文化の紹介・外国人との交流活動・世界の料理講習 ほか
3. 国際協力活動
ホームステイ受け入れ・鳥山在住ベトナム難民との交流・アジア学院との交流・日本語教授ボランティア
4. 広報活動
会報「いっくら」発行年4回・会誌「いっくら」随時
5. 地域社会への情報提供
国際交流事業の企画協力、講師派遣紹介
6. いっくら教育基金 難民・留学生の支援

協会日誌(1989 2.14~1989 3.31)

- 1989. 2.14 第1回国際交流ボランティア養成講座(自治会館)
- 1989. 2.17 協会設立記念シンポジウム(青年会館)
基調講演：東工大教授・渡辺利夫氏
「アジアの時代と日本の役割」
- 1989. 2.23 中国浙江省市長代表団7名来県(県内及び東京視察)
～2.28
- 1989. 2.25 青年海外協力隊OB会関東ブロック会議(藤原町)
- 1989. 2.28 第2回国際交流ボランティア養成講座(自治会館)
- 1989. 3. 2 中国浙江省旅遊、宗教訪日団5名来県(日光見学)
- 1989. 3. 6 日韓の児童の絵と作文展覧会(自治会館ロビー)
～3.31 主催 栃木県日韓女性親善協会
- 1989. 3. 7 第3回国際交流ボランティア養成講座(自治会館)

- 1989. 3. 8 協会設立記念講演会(ロイヤルホテル)
講師 立松和平氏「郷土から見た世界」
協会設立記念祝賀会(ロイヤルホテル)
- 1989. 3. 9 海外技術研修員県外研修
～3.11 (東京方面視察)
- 1989. 3.14 第4回国際交流ボランティア養成講座(自治会館)
- 1989. 3.17 県費留学生・海外技術研修員合同修了式(県公館)
同お別れパーティー(ニューみくら)
- 1989. 3.23 第1回評議員会開催(自治会館)
- 1989. 3.24 県費留学生・海外技術研修員帰国(成田)
- 1989. 3.28 第2回理事会開催(自治会館)



文化・教育・スポーツ・産業・技術交流・姉妹都市。
多彩な国際交流プログラムにおいて、数多くの実績で高い評価を得ている、当社のネットワークをご利用ください。



運輸大臣登録一般旅行業第20号
近畿日本ツーリスト
宇都宮支店
〒320 宇都宮市馬場通り3-1-4
☎[0286] (33) 2151
一般旅行業務取扱主任者 吉野 勝

MIGA (Multilateral Investment Guarantee Agency—多国間投資保証機関) の長官、寺澤芳男氏の講演内容のうち、前号では、主に世界経済における日本の位置、南北問題及びこれに関連するMIGAについて掲載しましたが、今回は国際化の時代にあって、日本あるいは日本人がどう考えればよいか、という視点に立ったお話を掲載します。

MIGA長官 寺澤芳男氏の講演

《豊かな国民生活に意識改革を》

日本が経済大国になって世界に何をしたらいいかという議論についても多少疑問を感じています。例えば具体的にいうと、発展途上国への経済援助、技術援助など日本が世界に向かって何をしたらいいのかということばかり、そういう方面からばかりアプローチしていくと間違えんじゃないかな。

つまり、まじめな普通の日本人の生活が、普通にヨーロッパ並みになるように環境を整備していくというところに、もっと力を入れることが即経済大国日本がやるべきことなのではないでしょうか。といいますのは何といったってまだ下水も完備してない、水洗便所もない、都市ガスもないというところがまだまだたくさんあります。アメリカはニューヨークのハーレムに行ったら左側をひねれば熱湯がでできます。そういうInfrastructureというかそういった社会的な設備がまだまだ日本は遅れてます。ちょっと郊外にでますと東京でも宇都宮でもそうだと思うんだけど、歩道のない道路がまだある。歩道のない道というのは殆んどアメリカにはないわけで、子供の手をひいて車が向こうから来るとひやとして塀にべたっ子供と一緒にくっついて車の通るのを待つという、こういう生活でどうして日本は世界一の経済大国なんだろうという素朴な疑問が僕にはあるわけです。

だからすぐにはそれは直らないんだけど、そういう民生の、国民が生活していくための豊かさを求める経済基盤をほんとに考えることが必要だと思います。それを達成するために他の国からいろんなものを輸入することが必要だと思う。確かに1945年のあの敗戦の廃墟から立ち直るためには日本の経済というのは、原材料を輸入してそして加工して輸出するという、輸出優先ということでガムシャラにやってきたわけでありました。またそういう点でガムシャラにやってきたからこそ、今日の日本の繁栄はあるわけで、それをどうのこうのと言っているわけではないんだけど、今後はそうじゃなくともっと本当に国内の生活を豊かにするような投資をやるべきであります。

フランスでは5週間のVacanceが義務づけられています。今5週間休めといわれたら僕らの年配だと遊び心がありませんから困ってしまう。1週間も休めばあ会社に行きたいということになる。どうしてかという結局リゾートエリアとかそういう楽しく家族で遊べるような安いいところがない。今海外旅行にたくさんの人が行っているけれども、勿論海外を見たいということではありますがやはり円高で、下手に国内旅行をしてみても、新幹線も決してお安くはないわけでして、あれでぐるぐる廻ったら、ほんとに親子4・5人で1週間ぐらい方々へ行ったら大変なことになるわけです。何かもっと違う環境で、いい意味での健康な遊び心というものを、豊かにenjoyできるような場所をう

んとつくったらどうかな。とにかく風光明媚、栃木県なんかその最たるものだけでも、素晴らしいところがたくさんあると思うんです。そういうところに投資をして、日本国のなかで投資が増えていくことが必要だと思う。

ハードウェアというものは自動車とかテレビジョンとかハードなものは、時間の問題でニーズとか具体的に言えば韓国とか香港とか台湾とか、そういう労働力の安いところに結局は移行していくと思います。だから日本の場合とにかくそれだけに頼っているのは非常に危険であって、もっとソフト或いはソフト関連の産業に頼ると同時に、もっと国内指向の、内需指向のinvestmentということが極めて重要になってくるのではなかろうか。それがとりもなおさず経済大国日本が世界に対してやるべき役割と、結局は裏腹になって結びついていくんじゃないかなと僕は思っているんです。日本という国が個々の人間も同じなんだけれども、急に金持ちになったり、リッチになったりすると他の人がそねみ、ねたみ、ひがみ、そういうものを感じると全く同じように、アメリカは今日日本をねたんでいるしヨーロッパは日本をそねんでいるし、残念ながら日本は決して世界各国から愛されてはいません。だから日本がこれから世界各国から愛されないまでも、少なくともお仲間入りができて、まともに仲間にしてもらえるためには、やはり我々日本人の意識改革というのが非常に大事になってくるんじゃないかと思うんです。

《国際化と国際人》

日本のように単一民族で単一言語という国の方が世界には少ないわけでありまして、だから日本で通用しているツーカーの文化というのは世界中に通用しない、まずその辺の認識をはっきりさせておく必要があるんだと思うんです。これはいいとか悪いとかいう問題ではなくて、認識の問題だと思います。だから皆さんが機会があって今後アメリカへヨーロッパへ或いは東南アジアへ旅行される時に、まず既成概念を持たないように、全くいろんな国でいろんなしきたりが違います。それは必ずしも日本のしきたりと同じではありません。だから全く既成概念を持たずに頭をやわらかくして各国を見ていただきたい。動脈硬化で脳溢血になるような頭だとなかなかアメリカもソ連も東南アジアも理解できないと思います。

だから僕は国際化という問題については、これが一番大切な問題じゃないかと常日ごろ思っております。やわらかい頭で、日本の常識は世界の非常識であるかもしれないという謙虚な気持ちで相手の文化を、習慣をまず観察するという、そこからスタートすべきなのではないでしょうか。その相手の文化を或いは習慣を受け入れるかどうかということは、また別問題であり

ます。そこに自分の価値観とか或いは好きだとか嫌いとかいう感情が入ってもこれは全くさしきわりのないことであってそれはいいのですが、少なくとも自分の小さな小さな尺度で優劣或いはいいもの悪いものを決めるという、そういう狭量なやり方を全くやめてみるという、これが国際化の第1の条件だろうと思います。

第2の条件としては、隣にアメリカ人がいても隣にインド人がいても、隣にフィリピン人がいても平常心を失わない人がここにいらっしゃったら、僕はその人はほんとに国際人だと思う。電車に乗ったらアメリカ人が隣に座った。ひょっとしたら英語で声を掛けられるかもしれない。俺は私は英語はわからない。どうしたらいいのかな、或いは声をちょっと掛けてもらいたいなという気持ちもないではない。いろんな気持ちがあって、とにかく隣に日本人が座った時のような平常心がなくなってくるという、これが普通の状態でありすけれども、そういう状態がなくなってきた時に初めてその人は、かなり国際人だと僕は思います。

国際人というのはまずちゃんとした日本人であるということが大前提であります。国際人というのは日本人として非常に魅力のある日本人であるということが大前提であります。今アメリカのビジネスマンが本当は日本人と商売するよりも英国人と商売したい。商売した後食事なんかした時に同じ英語でヨーロッパの歴史を或いは文学を、Shakespeare をディケンズを語りあえるというのは楽しいことなんだと思っている。しかし日本人と商売しているのは、日本の品物が素晴らしくいいからであって、商売の話が終わったら、さよならGood-Bye 今はそれでもいいかもしれない。だが日本人のビジネスマンも今後は品質の良さだけでなく、ビジネスマン自身の品質を良くしていかないと売れなくなるかも知れない。ビジネスマンの品質を良くするということは日本人としてちゃんとした教養をつけるということです。アメリカ人から見て、フランス人から見てこいつと話していると非常に面白いという、そういう教養を身につけることであります。文学書を読むことであります。歴史を勉強することであります。アメリカ人で僕らと同じウォールストリートで働いている人間が、日本語の文学書で英語に訳されている三島由紀夫、安倍公房、源氏物語などかなり読んでいる人が多い。僕にその話を持ち掛ける。僕が当然読んでもらうと相手は思ってる。ところが殆んど読んでいないんですね。だから非常に恥ずかしい思いをする。だからそういう日本人として魅力のあるビジネスマン、日本人として魅力のあるエンジニア、日本人として魅力のある政治家というのがやっぱり国際人としての第1の条件にこれからなっていくんじゃないか。

《国際人と英語》

それから英語というのは、これは国際人かどうかということとは全く別の次元でありまして、これはひとつのテクニックであります。しかしこれから特に30代40代の方、勿論20代の方は当然のこと、これから激しい地球経済の、地球政治の、地球規模の交流が始まります。その時に全く英語がわからないということになるとかなり悲惨な状態になる。それでその悲惨な状態を避けようと思ったら、語学というものは57才から始めるのじゃなくて、37才ぐらいから、できれば27才ぐらいから始めた方が覚えがいい。これは自分のためです。自分の一生を、自分の

生活を広げる。日本語しか読めない、日本語しか聞けない、日本語しか話せないという人よりも、英語のものも読める、英語のテレビも見られる、英語のラジオが聞ける、情報が早く入る、で株を買って大儲けをする。そこまでいかないけれども(笑)。そういうふうになった方が自分のためであると思います。国際人云々ということとは全く次元の違う問題である。この辺はきっちり私は区別して考えております。

残念ながら日本語しかわからないでこれから一生暮らそうとしたら暮らせないことはない。勿論宇都宮にずっといりゃいいんだから(笑)。だけれども英語がわかった方が若い人達はこれから自分の内容がrichになる、それをやるためには、くどいようだができれば若いうちから始めた方がいい。しかしながら年をとってからはじめたのでは駄目なのかということ決してそうではかいのでありまして、語学というのは老化を防ぐための妙薬であります。だから一生懸命にやって精神的に若返っていただきたい。僕は英語しかできないんです。フランス語は第2外国語でとったけれども、このあいだフランスへ行ってみたら全然役に立たなかった。だから今度は退職したらまずフランス語をマスターしようと思ってます。

とにかく、そういうふうにして皆がこの美しい祖国、特に僕は栃木県を僕の故郷として非常に誇りに思っているんですが、こんないい国があつてこんないい治安で、そしてお蔭様でこれだけ経済が素晴らしく発展しつつあるわけですから、何とかして世界の中でこれからも日本が仲間はずれにならないように、日本の経済繁栄が長続きするように、僕はほんとに心から念じております。

《鉛筆と国際人》

日本航空の国際線のスチュアデスを養成する機関があるそうです。そこで国際線にスチュアデスが乗る時にその研修所の教官が皆さんは鉛筆になってくださいと言うんだそうです。「鉛筆になってください。芯があつてまわりに木(気)を使うように。」と(笑)。鉛筆が全部芯だったら手がまっ黒になってしまう。逆に芯がなくて回りの木だけだったら書けないわけで、だからかなり象徴的な言い方なんだろうが、国際人というふうになるためには、日本人というしっかりした芯があつて、しかもなおかついろんな国の人に嫌虚になって意見を聞き、いろんな文化を勉強しなさいということなんだろうと思います。(終)

(1989. 2.17自治会館において)



HANAMI CHERRY

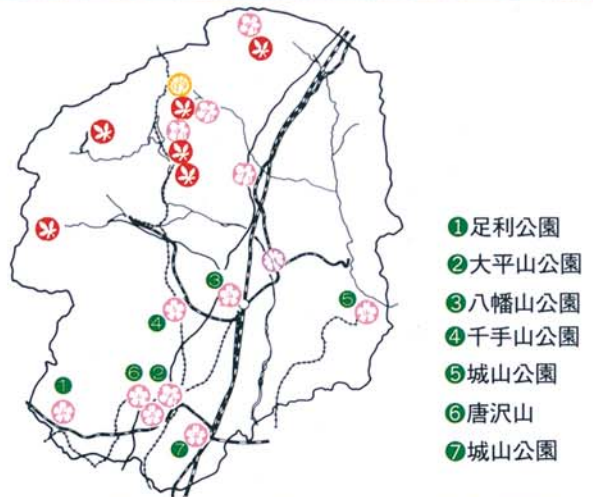
BLOSSOM VIEWING

花見

The cherry blossom, or sakura is Japan's national flower. The blooming of the sakura symbolizes, for many Japanese, the end of winter and arrival of spring. Around the time of the full bloom of the sakura, many picnic-like parties are held under the illuminating flowers of the cherry blossom to view this short lived scene, for the blossoms only stay on the trees for several days. This cherry blossom viewing is called hanami and has always been quite popular among Japanese.

History shows us that this annual custom has been popular for more than 1500 years. It is said that the Empress Jito went to the Yoshino mountains, a famous area in Nara Prefecture which is known for its beautiful cherry blossoms, several times during her reign (690-697). In 812, the Emperor Saga held the first historically recorded hanami festivities. The famous Daimyo Toyotomi Hideyoshi loved the sakura and often took his military officers and poets to the Yoshino mountains. They enjoyed viewing the sakura and wrote poems as the days passed by. During the Genroku period (1688-1704) hanami (the parties) became more elaborate, people made gorgeous hanami kimonos and held bigger hanami parties than ever before.

Sakura zensen, or the "cherry blossom front" refers to a theoretical line connecting the first blooming of the blossoms from region to region. Sakura zensen travels from the south (Okinawa) to the north (Hokkaido) from late March to mid-May, and it creates a popular barometer of the arrival of spring.



SOME FAMOUS HANAMI SPOTS

A : Name of the place B : Transportation

- ① A : Ashikaga Park (Ashikaga-city)
B : 10 Min. by bus or 25 Min. walk fr. Tobu-Ashikagashi Sta.
- ② A : Ohirasan Park (Tochigi-city)
B : 20 Min. by bus fr. JR Tochigi Sta.
- ③ A : Hachimanyama Park (Utsunomiya-city)
B : Take a bus fr. JR Utsunomiya Sta. 7 Min. walk from Kencho-mae Stop.
- ④ A : Senjusan Park (Kanuma-city)
B : Take a bus fr. JR Kanuma Sta. 7 Min. walk fr. Tenjincho stop. Or Take a bus fr. Tobu-Shinkauma Sta. 7 Min. walk fr. Kubomachi Stop.
- ⑤ A : Shiroyama Park (Motegi-machi)
B : Take a bus to Motegi Sta. fr. JR Utsunomiya Sta. (takes 80 Min.) 10 Min. walk fr. Motegi Sta.
- ⑥ A : Karasawasan (Sano-city)
B : 20 Min. by taxi fr. JR Sano Sta.
- ⑦ A : Shiroyama Park (Oyama-city)
B : 10 Min. walk fr. JR Oyama Sta.

These are just some of the many places around.

編集後記

- 桜の花が咲く頃に、第2号の機関紙をお届けします。今年は記録的な暖冬でしたが、金崎の桜は今年も観る者の眼を楽しませてくれるでしょう。
- 4月からは平成元年度がスタート。当協会も本格的に活動をスタートし、とちぎの国際交流を推進してまいります。
- 国際交流に関する皆様のご意見や、協会に対する様々なご要望などを、この機関紙に紹介させていただきますので、ごんどもお寄せ下さい。

●ご案内図

